

現地調査後に寄せられたご意見

平成 24 年 10 月 13 日

【ご意見 1】

1.今年度の成果について

“子供たちに残すべきもの／残してはならないもの”の視点で整理するとよいと考えます。

【残すべきもの】

- ①できるかぎり自然な海の姿
- ②豊かな食文化（含む地産地消の有難さ、漁の大変さ、後継者問題等への理解）

【残してはならないもの】

- ①開発による再生不能な自然環境
- ②税金の増加などの負債

これまで、WS ではあまり議論されてなかった気がしますが、子供たちに何を残し、何を残してはならないか、は中長期の本質的な課題であり、市民に理解されやすい観点だと思えます。

前々回、参加者のお一人から、「税金なんて多少ムダ使いしたっていいのでは？」旨の発言がありましたが、子供達の時代に、地方税、消費税、年金等、これ以上の負担を増やさない努力を、今、大人達はしておくべきです。

中長期で見ると数十億円かかるであろう、しかも環境にも負荷をかける懸念のあるインフラ整備を、安易に進めるのは、無責任だし、恥ずかしいことだと思います。

（行政は茅ヶ崎や平塚新港等の事例からもっと真摯に学ぶべきです）

[http://homepage2.nifty.com/shirahama_morio/Shounan%20Online\(Hiratsuka\).htm](http://homepage2.nifty.com/shirahama_morio/Shounan%20Online(Hiratsuka).htm)

2.” 当面 ” の意味

今後、まず検討し、アクションすべきは、残すべき” 豊かな食文化 ” について、ハード先行ではなく、浜売りの定例化や子供の漁体験のようなソフト面の活動だと考えます。

これにより、豊かな食文化についての体感・市民理解が一定進んだ状況を創るまでが「当面」であり、それ無しに、漁港建設の検討には進むべきではないと思えます。

「市民理解が一定進んだ状況」については、浜売りの来場者数、漁体験の参加者数のように定量的に示せるようにしておくべきです。

個人的には、ネット等による世論調査を実施し、「このような豊かな食文化を残すためにインフラ整備が必要ならば税金を使うことも止むなし」という市民が半数以上になって、はじめて漁港建設の議論をスタートすべきで（それまでは凍結）、その際も漁港建設ありきではなく、「豊かな食文化を残すための手段は何か？」という一段上のテーマで議論を開始すべきですし、「豊かな自然を残す」ための議論や環境調査等検証と両面平行して検討すべきだと考えます。

また、子供達ですら、鎌倉の安全面を日々心配しつつ、震災に被害にあった方々へのいたわりの気持ちを持っている現状にあって、行政や漁業関係者も、その点についての活動やその周知をもっとすべきだと思います。

私の知人の七里ヶ浜の有志の方々が、宮城県七ヶ浜の復興を継続的に支援しています。

そういうソフトの活動に行政や漁業関係者も積極的に参画し、発信することで、同時に鎌倉の安全面の整備に注力し、周知し、安心感を持ってもらうことで、「鎌倉の漁業者も応援したい」という市民感情も育まれるのではないのでしょうか？

逆に、復興を応援しようというこの時期に、どれだけ必要か疑問を持たれるような地元のインフラに億単位の投資をすることは、鎌倉行政、漁業者、ひいては市民の見識が全国から疑われてしまうと思います。

以上、要約すると、

「子供達にいたずらに負担を増やすハード先行の漁港建設は無理。まずソフト面の活動から」

「ソフト面の活動で一定の市民理解が得られるまで漁港建設の検討は凍結すべき」との意見になります。

斉藤教授が今年度のWSのテーマの一つは『漁港を造るとした場合の要件の明確化』だと仰っていましたが、その要件、というより第一の前提は、『ソフト面の活動による一定の市民理解』だと考えます。(ちなみに私見では第二の前提は市の財政再建ないし健全化です)

残りのWSないし、別の場で、どんなソフト面の活動をすべきか、一定の市民理解の基準をどこに置くべきか、を討議すると建設的だと考えます。

これまで、WSに参加し、漁業者の方々の思いやご苦労も理解した上で、市民と漁業者の双方が手を取り合える方向だと信じておりますので、以上、何卒宜しくお取り計らいお願い申し上げます。

【ご意見2】

期限ぎりぎりになりましたが、やっぱり、伝えておこうとります。

「やっぱりどう考えても時期が悪い。東北の各漁港がこういう状態の時に、鎌倉市に2つ目の、新たな漁港建設の基本構想・計画を日本国にあげるということが、鎌倉市として恥ずかしいと思う。」

東北の件が片付いてからでないと、鎌倉市は国に言うべきではないと思います。

今はビジョンにとどめておいた方がよいと考えます。

乱暴ですみません。

あえてメールで言うことか否か迷いましたが、今後意見を伝える場もなくなることを考え、送信することにしました。

国民共通認識だからこそあえて言わない、という状態だと思います。

「そんなことわかってる」というふうに。

でもだからこそ、当たり前前の方が置き去りにされていくのもいかなことかと思いメールします。

【ご意見3】

① 漁業体験で感じたこと。

漁業体験、貴重な経験が出来、ご協力頂いた漁業者のみなさんありがとうございます。ほんの一瞬ではありますが、漁業者の皆さんの日々苦勞に触れることが出来ました。

② 緊急的な対策を。

現状の浜は砂地の上に、頑丈とは言えない小屋で構成されています。ここについて関係行政機関に働きかけ、一刻も早く、安全対策を取るべきだと思います。

③ 漁獲量に関する疑問

漁港を持つ小坪と持たない鎌倉の漁業で、漁獲量に差が無いのはなぜなのか。漁港を持つことで生産性が上がり、漁獲量が飛躍的に上がるということなのでしょう。また、それは何倍程度上がるのでしょうか。

④ 漁港費用の負担は誰か？

漁業者のみなさんの安全に対する懸念については理解出来ます。漁業者のみなさんで漁港の建設費、ランニングコストを負担するというのであれば反対する理由は少なくなると思います。

しかし、全てまたは大部分を税金で負担するというのであれば、反対せざるを得ません。今の時代、ごく一部の限られた人達が使用する施設を使用者の負担がゼロで、高額な費用を全て税金で建設するということに対し、市民の理解を得ることは難しいのではないのでしょうか。

特に、税金を使うのであれば、津波による大きな被害を受ける鎌倉市民の避難先など、「安全」という意味で多くの市民が必要をしている施設を優先すべきではないかと思います。

⑤ 漁港の『市民への利益還元』が現状考えられない。

漁港の市民利用も、小坪漁港の見学の中では「ほぼ不可能」という話があり、また、鎌倉の水揚げの多くが横浜の市場に流れている現状では税金を使う上での最低限の条件である『市民への利益還元』が無いと言わざるを得ないのではないのでしょうか。

『市民への利益還元』が約束されないのであれば、税金を投入することに市民の理解を得ることは難しいと思います。

⑥ 今後について（鎌倉市民への利益還元と流通システムの改革）

漁業者の皆さんの主張の一つでもある『鎌倉市民への水産物供給』を実現し、鎌倉の漁業を産業、町の大きな柱にすることを最優先すべきではないのでしょうか。

そのためには、まず、流通の問題を解決すべきだと思います。鎌倉の漁業者のみなさんが命をかけて捕って来た魚が横浜に流れるのではなく、鎌倉市民に提供出来るシステムを作ること、これが完成され、『鎌倉市民は新鮮な地場の魚を食べることが出来る』という

意識が市民に浸透すれば、自ずと鎌倉の漁業は発展し拡大していくことになるでしょう。その時に初めて、市民の誰もが漁港の必要性を検討をする必要があると感じ始めると思います。

⑦WSの結論について

昨年度のWSの結論である『無理がある』というのは、非常に的を得ていたと思っています。

市役所、ファシリテーターの皆さんは、何かと漁港を作る方向へ話を持っていくと感じていますが、昨年度の結論を元に今回の議論もあることを重視して頂き、まとめて頂きたいと思います。(立場的な気持ちはわかりますが、公平性を大切に)

昨年の結論、今年の結論、多くの人たちが時間を費やした成果であることを忘れずに頂きたいと願います。

【ご意見4】

○提案したいこと

台風の花が国道134号線にあがらないように、浜小屋を整備しては。

○解決したいこと

防波堤を作り、浜小屋まとめて、見栄えの良くした方が良いのでは。

○他

現場に来て驚いた。原始的な作業で船を揚げおろしているのには、見るのと聞く事では違いの大きさを感じた。鎌倉の第一次産業を守りたい。漁師に港を・・・

【ご意見5】

1. 当該・坂の下地域は、殺伐・荒涼とした風景で、何も生まない(感動も 愉しさも お金も健康増進も)と言っても過言とも言えない現状です。 制約はあって当然。

2. 多くの人々の要望を、殆ど叶えることの可能性を秘めた、鎌倉市の貴重な地区です。

3. 此の地区が、真の宝としましょう。 何の様なことが、此の地区で考えられるか。

* 掘り込み港湾・漁港・繋船設備(呼称はおおげさ) 上はがっちりと覆う(PSコンクリート、または、鋼構造)。 屋上には、商業、スポーツ施設。 ソーラー発電。 避難施設。 道の駅兼 海の駅。・・・・

** 国交省 総合政策局、 道路局、 海事局、 農水省・水産庁。
鎌倉市 市議会 etc との対話折衝。

*** 総事業費100億 ?

**** アイデアコンペ (検討・採用案 2~3通り。 1案/100万円)

***** WS で、最高点案 を、議会有志 行政関連部局全て・・・・
対・WSP の合同 討論会にかけて評決。

一案です。若し、この手順が、WKSP の過半数になれば、PPP 方式のモデルにも成り得ましょう。

※いただいたご意見についてそのまま記載しております。

以上